



ぜつめつ きき にほん やせい い 絶滅の危機にさらされている日本の野生の生きものたち

ほ乳類 203種のうち
約23%



鳥類 704種のうち
約13%



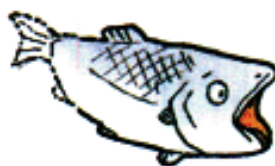
は虫類 97種のうち
約19%



両生類 64種のうち
約22%



汽水・淡水魚類 300種のうち
約25%



植物 7,087種のうち
約20%



●メダカが日本からいなくなる!?

メダカは、私たちのすみ人里でくらす一番身近な魚だった。しかし、今では全国的に数が減り、絶滅するおそれのある生きもののひとつになってしまった。メダカは、田んぼやそのわきの水路などでくらすしている。むかしの水路は土をほっただけのもので、水草も生え、水の流れもゆるやかだったので、メダカにとってはくらしやすかったんだ。だけど、そうしたところが減るにつれ、くらすところがなくなり、かれらは姿を消していった。

今、多くの種類の野生の生きものたちが、くらすところをうばわれて、この世の中から急速に姿を消している。

ちきゅうおんたんだんげんしょう にんげん い だいこんらん 地球温暖化現象で、人間も生きものも大混乱

地球の気温は、21世紀末までに約2℃上がると予測されている。これは「地球温暖化」と呼ばれる現象で、私たちが石油などを使いすぎて、二酸化炭素などを大量に出していることが主な原因だ。

たった2℃上がるだけでもグリーンランドなどの氷河がたくさんとけて、いくつかの島国や海の近くにある地域は水没してしまう。また、干ばつや水害が世界各地で起きたり、多くの生きものが気候の変化についていけずに姿を消すと心配されている。

